

宮崎 綾 日向夏ケチャップ

(1) イオンの森づくりの取組

町全域がユネスコエコパークに登録されている綾町では、綾中学校新校舎建設のためにスギを伐採した町有地において、2013年から宮崎県、宮崎中央森林組合、イオン環境財団との連携により植樹活動を中心とした「綾町イオンの森」づくりを始めています。また、全域で農薬の使用が抑えられている綾町内には、農薬を嫌うニホンミツバチなどの昆虫類が多く生息しています。「綾町イオンの森」の麓に広がる日向夏みかん畑にもニホンミツバチがやってきて花粉を運ぶ手助けをしていることを、宮崎大学※の研究室が明らかにしたことを受け、2017年から、ニホンミツバチが好む花の咲く樹種を植樹し直すなど、生物多様性豊かな自然環境を復元させるための新しい森づくりをスタートさせました。ニホンミツバチにとっても地元の日向夏みかん農家にとっても良い環境を作り出すことを目指しています。



(2) 商品化・販売に向けた取組

こうした取り組みの一方で、ニホンミツバチの保全や持続的な日向夏みかんの栽培へとつなげるために、蜂蜜や特産品である日向夏みかんを活用した新規商品開発ができないか、

南九州大学※へ相談し、2020年から綾町と南九州大学との連携事業（受託研究テーマ）として取り組んできました。その過程の中で、南九州大学から日向夏ケチャップの提案があったため、学生に様々なアイデアを出してもらい試行錯誤しながらレシピの制作を進めていきました。



日向夏ケチャップの試作品（南九州大学作成）



大学での官能評価会（レシピ段階）



大学での試食会（販売用試作段階）

そのような中、2024年に、「綾町イオンの森」づくりや日向夏みかんの販売にも協力いただいているイオン九州（株）からのサポートを受けることが出来、販売化に向け着手したところです。青果物として出荷できない日向夏の果汁を飲料水として加工・販売していたJAみやぎ綾町地区本部より、その日向夏を分けていただき、その果汁を用いて株式会社響およびヤマエ食品工業株式会社に試作を依頼しました。

完成した試作品をもとに調整を重ね、最終的に、販売責任者をJAみやぎ綾町地区本部、製造責任者をヤマエ食品工業として、「日向夏ケチャップ」を商品化し宮崎県内への販売を目指す運びとなりました。



<商品イメージ>

(3) 今後の展望

2024年10月には「綾町イオンの森と割付地区の日向夏畑」が環境省の自然共生サイトにも認定を受けました。今後は、こうした自然と共生した取り組みを進めるユネスコエコパークの町綾町の、日向夏みかんを使用した新商品「日向夏ケチャップ」を販売することで、取り組みのPRとともに、県内の日向夏みかんの活用の可能性についても多くの方に認識いただけるよう、広く発信していきたいと考えております。

※綾町は2015年から宮崎大学と、2016年から南九州大学と包括的連携協定を結び、毎年様々な研究テーマに基づいて、連携した事業を進めています。

<スケジュール>

- 11月上旬 パッケージラベル印刷（デザインは確定済み）
ポスター印刷（最終デザインを調整中）
商品の完成（価格含む）
- 11月中旬（11月20日） 県内のイオン各店舗にて先行販売開始
- 1月以降 イオン店舗以外での販売開始